

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第3区分

【発行日】平成17年10月27日(2005.10.27)

【公開番号】特開2004-38973(P2004-38973A)

【公開日】平成16年2月5日(2004.2.5)

【年通号数】公開・登録公報2004-005

【出願番号】特願2003-183595(P2003-183595)

【国際特許分類第7版】

G 0 6 T 3/00

H 0 4 N 7/18

【F I】

G 0 6 T 3/00 1 0 0

H 0 4 N 7/18 K

【手続補正書】

【提出日】平成17年8月22日(2005.8.22)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 4 7

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 4 7】

次に、ワープテーブル150が生成されて、補正されたイメージ1_3_0内のピクセル座標2010の位置が決定される。図20に示す通り、このワープテーブルは、垂直軸Y'、と水平軸X'を有する第2の直線座標系を有する。補正されたイメージ1_3_0の幅はw'である。以下に詳細に説明するパラメトリックイメージワープ関数およびスケーリング係数を使用して、補正されたイメージ1_3_0内のピクセル座標の位置を表わす補正されたイメージ内の位置にピクセル座標2010が配置される。図20に示す通り、ワープテーブル内のピクセル座標2010の位置は補正されたピクセル座標(x', y')で与えられる。この場合も、x'はX'軸に沿ったピクセル座標2010の水平方向の位置を表わし、また、y'はY'軸に沿ったピクセル座標2010の垂直方向の位置を表わすことに留意されたい。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 4 8

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 4 8】

補正されたイメージ1_3_0は、(広角イメージ110の)ピクセル2000の位置を補正されたイメージ1_3_0内に位置する補正されたピクセル2020にマップするワープテーブルを使用することによってリアルタイムで生成される。補正されたイメージ1_3_0内のピクセル2000の位置が決定されると、ピクセル2000のRGB値を補正されたイメージ1_3_0内の補正されたピクセル2020に適用することができる。このようにして、広角イメージ110をリアルタイムで補正して、広角イメージに一般に付随する歪みおよび他の知覚の問題が実質的ない補正されたイメージ1_3_0を生成することができる。